

令和6年度プロジェクト研究公募テーマ

プロジェクト研究テーマA

「技の保存・master craftsmanship management」

趣旨：

歯科医師、歯科技工士、歯科衛生士の3職種は手先の技術が問われる職業である。特に、デジタルデンティストリーなるICT化やDXで、歯科の王道的モデルが変化している。

一方で、デジタルでカバーできない、技をもつ年齢層は、徐々に一線から退きはじめ、所謂「匠の技」を伝授することなく、または伝授する後輩が増えない歯科界は、その技術の消滅を致し方ないものと割り切る状況であることは否めない。

古典的には、映像で残すことも行われているが、細かな動き、質まで映像では再現できないものも少なくない。

そこで、今年度はこの緊喫の課題に絞り、プロジェクト研究テーマを「技の保存・master craftsmanship management」として、この課題を解決すべく、歯科の各分野で残すべき

「技」をデジタル的に残す方法に関する研究を募集する。これにより、今後の人材育成を効率的に行うことのみならず、教育的効果を客観的に評価することも可能となるだろう。それは近い将来のロボット治療技術につながるものとしても期待できる。

プロジェクト研究テーマB

「加速度的に進むデジタルデンティストリー ～デジタル用語の整理と統一化を目指す～」

趣旨：

昨今、医療DXの進化が異常なほど、加速度的に進んでいる。歯科医療界においても同様にデジタル器材や情報伝達などにおいて、その普及が進んでいる。

一方、技術が先行しているがために、ICT関連用語を含め、これらデジタルの用語が多用されるようになってきたが、学会によっては、同一事象を別の用語で表現するなど、研究者や臨床家が混乱することも稀ではない。

各学会で使用されているデジタルデンティストリーに関する用語の整理を行い、歯科界として統一された用語を使用していくのも本学会の使命であると考えます。

そこで、プロジェクト研究Bとして、「加速度的に進むデジタルデンティストリー ～デジタル用語の整理と統一化を目指す～」と題し、サブテーマにもあるように、現在社会に登場しているデジタル用語の整理と統一化をから「デジタルデンティストリー用語集」を作成するなどのプロダクトを求めるものである。